



会社に利益を与える社員になれ！！

人事評価の面でも盛んに能力・実力主義が叫ばれているが、これからは「貢献主義」の時代になっていくであろう。

いくら優秀で、実力が備わっていても会社に貢献できなければ本当の意味で実力があるとは言えない。

「実力がある」ということと「貢献している」ということは根本的に意味が違う。特にビジネス社会においては、自分が置かれた環境に対応できなくて、結果が出せない人間は、いくら能力が高くても会社に貢献したことにはならず、評価されない。30代、40代になって貢献度が低かったらリストラの対象になっても仕方がないであろう。

会社に貢献していくためには、自分の個性や特質を思い返してみて、自分が持っている得意技を生かして会社の役に立つ道を探っていくしかない。

そのためにはリスクを冒してでも他人と違うことをやる。また、それができる人間になっていくことが必要である。

